



季節を知ったら  
暮らしが楽しくなった

（第二二九号）

夏至<sup>げし</sup> 六月二十一日

## くみひも平井

伊賀くみひもの「くみひも平井」が、おほらい町の宇治浦田町に引っ越しました。五十鈴塾の隣、濃紺の暖簾<sup>のれん</sup>がかかる平入の二階建てです。

店内には伝統工芸品の伊賀くみひもの帯締め<sup>おびじ</sup>から、現代的なストラップやキーホルダー、髪留めなど、さまざまにアレンジされた組み紐が並びます。

そして、奥の座敷には組み紐作りが体験できる角台<sup>かくだい</sup>がお目見えしました。

「伊賀は組み紐の一大産地で、現在二十五軒の「紐屋<sup>ひもや</sup>」が組合に加盟。手で編むのではなく、糸を組んでいくから組み紐というのですよ」と平井兼蔵商店の平井理考さん。普段は伊賀の工房で組み紐を作り、週末は伊勢の店で実演の手ほどきもしています。初めて組み紐作りに挑戦してみました。

四角形の角台には二色の糸が八玉セットしてあります。まずは手前と向こう側の玉を両手で取って、右に動かし、次に隣の違う色の玉を取って右に動かすという具合に組んでいきます。平井さんのようにリズムカルにはいきませんが、集中して手を動かすと、斜めに模様が入った紐が組まれていきます。なるほど糸を編むのではなく、組んでいくのだと実感しました。この体験コーナーでは三十分ほどで十五〜二十センチを組み、キーホルダーにするのだから。珍しい体験ができます。

そして店で目を引いたのが、伊勢志摩サミット記念の本真珠と伊賀くみひもを組み合わせたネックレス。銀糸を使った上品な組み紐が真珠とよく合っています。

また、移転オープンで単色の叶結び<sup>かのうむす</sup>キーホルダーやイヤリングが登場。すっきりとした色合いも目新しく感じました。この時期、組み紐のユニークな風鈴も。涼しげな色で、心地よい音色を響かせています。

文 千種清美

